



太鼓の力で、よりよい未来を。

KODŌ

公益財団法人 鼓童文化財団
年次報告・計画書 2017-2018

ご挨拶

公益財団法人 鼓童文化財団
理事長 五十嵐 実
(いからしのみのる)



2017年は、鼓童文化財団設立二〇周年、アース・セレブレーション三〇周年、佐渡太鼓体験交流館（たたこう館）十周年と財団の大切な節目が重なった年でした。

アース・セレブレーション(EC)におきましては、一昨年より、佐渡が島全体をフィールドとしたフェスティバルへと転換をはかっております。これまでECを象徴してきた城山コンサートは、港近くの会場で行う「ハーバーマーケットライブ」に形を変えましたが、おかげさまで好評を得ることができました。

また、鼓童の前身である佐渡の国鬼太鼓座設立のきっかけともなった、「日本海大学」に関する振り返りを行い、セミナーなども開催させていただきました。

これらは、今後「鼓童の会」会員の皆様との交流の場作りとしても継続していきたいと思います。

そして、財団の最大の使命は鼓童を担う人材の育成にあります。募集の拡大と育成環境の整備に力を入れたいと思います。

今年度の目標としましては他に、鼓童グループの活動の中心地域である佐渡地域の振興、佐渡市との連携を積極的に行い、日本全国で大きな課題となっている地域振興に貢献したいと思っております。

さらに、本財団が中心となり開発した、介護予防・健康増進フィットネスプログラム「エクサドン」の本格的普及活動に力を注いで、社会的な課題解決の一助となるよう努力いたします。

本年におきましても様々な課題を乗り越え、一層精進いたしますので、皆様方の益々のご指導、ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。



五十嵐 実 プロフィール

税理士、日本自然環境専門学校 学校長、障がい者就労施設「あおぞら」副理事、(一社)五頭自然学校 理事長、新潟NPO協会 理事。
人間の能力を引き出し、社会をより良く変革していくとの思いから、新潟日報メディアシップ、NHK文化センター等で「マインドフルネス」の指導・普及に取り組む。



30回目を迎えた「アース・セレブレーション」(8月)
ハーバーマーケット・ライブ最終日の「鼓童オールスターーズ」

鼓童文化財団 設立20周年・佐渡太鼓体験交流館 開館10周年



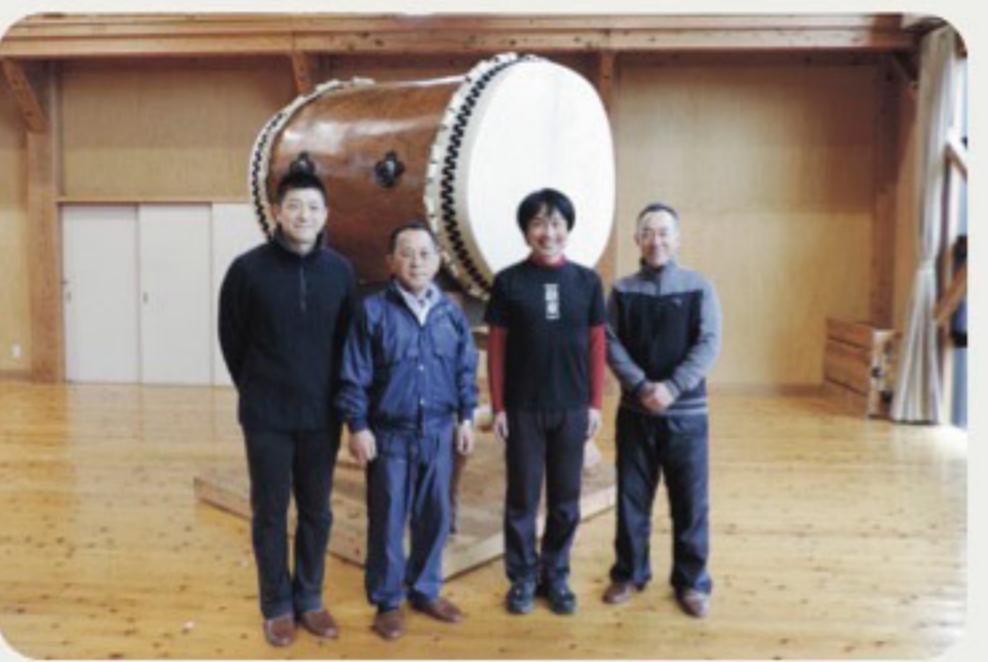
深浦学舎で「日本海大学セミナー」を開催
(10月)



文京シビックセンター スカイホールで行った
「鼓童の会会員の集い」と、合わせて行った、
永六輔さんへの感謝をお伝えする「鼓童結褒賞」贈呈式 (12月)



「たたこう館まつり」
(12月) 鼓童文化財団スタッフによる太鼓演奏や、10周年記念特製丼を提供
(やまいもと豚肉を使用)



「やまいもくん」の革の張り替え完了 (3月)
運んできてくれた浅野太鼓楽器店の浅野
専務とともに



『歌えや囃せや永 song～藤本容子コンサート』
(7月) 手ぬぐいを頭にのせて「いい湯だな」



永さんゆかりの方々から展示物や文章等のご協力を得て行った「永六輔氏(永さん)と佐渡・鼓童」展 (7月)



永六輔さんから2011年に鼓童結成30周年記念誌『いのちもやして、たたけよ。』に寄せて
いただいた「鼓童30周年ソング」に藤本容子が作曲。『永 song』コンサートで踊りと共に披露
(振付:金城光枝)



鼓童文化財団にとって様々な節目の重なった2017年。記念事業として、7月には、鼓童の誕生に深く関わり、また当財団の設立時に評議員を務められた永六輔さんが作詞された歌を中心としたコンサート『歌えや囃せや永 song～藤本容子コンサート』を、鼓童名誉団員・藤本容子の企画で開催しました。展示室では
永さん
「永六輔氏と佐渡・鼓童」展を同時開催。

また、今年の「鼓童塾」はこれまでに参加された塾生さんを対象に、「同窓会」形式のスペシャルバージョンで実施しました。



参加した年代は違えど、塾生さん達の「熱き思ひ」が再び集結した
「鼓童塾同窓会」 (10月)



「鼓童佐渡宿根本公演」(4～5月)
期間中、クラシックカーによる日本縦断ラリー「サムライ・チャレンジ」の
参加者の皆さんのが来島。公演鑑賞と太鼓体験をお楽しみいただいた。

2017年度

活動トピックス

佐渡太鼓体験交流館開館10周年、鼓童文化財団設立20周年、そしてアース・セレブレーション30周年。2017年は、当財団にとって多くの節目の重なった一年となりました。

エクサドン（入門編講座開催）

太鼓をつかった健康増進・介護予防プログラム「エクサドン」は、こころとからだがヨロコブ健康習慣として、楽しい運動習慣とバランスのとれた食事習慣により「幸せ」と感じる気持ちを育みます。この取り組みをより多くの方々に知っていただく機会として、2017年秋に「エクサドン入門編講座」を、いわき市、さいたま市、東京・目黒区、石川県にて行いました。参加者の職業は千差万別、様々な人たちがいました。いろいろな専門分野で活躍する方々にとってのエクサドンは、とても可能性のあることを感じただけたようです。

「エクサドン」は「エクササイズ（運動）」「佐渡」「ドン（太鼓の音）」を合わせた造語で、鼓童文化財団と森本芳典氏の共同登録商標です。



- ・福島県いわき市：新舞子ハイツ体育館
- ・埼玉県さいたま市：すわんどさいたまスーパーアリーナ5F
- ・東京都目黒区：響和館Bスタジオ
- ・石川県白山市：浅野太鼓太鼓練習場「新響館」（浅野太鼓楽器店内）

- 講座内容（約120分）
- ・オリエンテーション（10分）
 - ・DVD講義『エクサドンについて』（講師：認知症サポート医 森本芳典氏）（15分）
 - ・太鼓実技（90分程度）



たたこう館10周年 (のれんリニューアル)

佐渡太鼓体験交流館の開館10周年を記念し、館のシンボルである「やまいもくん」の傷んでしまっていた革の張替を行いました。募金にご協力いただいた皆様には、感謝をこめて、ふせんやポストカード、やまいもくんの革から作ったお札などの記念品を差し上げました。また、入口にかけているノレンのリニューアルを企画しました。鼓童の会会員の皆様のお名前、そして鼓童のメンバー・スタッフの名前を刺し子で刺そうというものです。機関誌上で呼びかけを行い、230名を超える会員の皆様からお名前掲載のご希望をいただきました。刺し子の指導は大井キヨ子。キヨ子のアイデアで「やまいもくん」と「ぶたばなちゃん」のイラストを加えたデザインになりました。たたこう館スタッフで拡大した下絵を布に書き写し、12月、文京シビックホールでの「鼓童の会会員の集い」の日に齊藤栄一やキヨ子が中心となって昼夜から制作開始!イベントにお集りの皆様にお披露目しました。2018年度内には完成させたいと思っています。

研修所同窓会を開催

鼓童の研修制度がスタートして、30年余り。元研修生の発案で、研修制度が始まって以来初めての「研修所同窓会」が、研修所の収穫祭に合わせて行われました。現在の柿野浦の研修所、さらには北田野浦（旧相川地区／1986～1991年）、大小（旧真野地区／1992～1995年）の研修所時代まで遡り、集まったのは総勢40名ほど。在籍した時代は違えど、経験してきたことは皆同じ。全員で太鼓をたたいて音をつなぎ、また唄で声を合わせて、温かいエネルギーが溢れる時間となりました。



決算

貸借対照表 2017年12月31日現在 (単位:円)		
I 資産の部		
流动資産	現金および預金	6,597,781
	売掛金	13,125
	未収金	4,695,672
	仮払金	500,561
	その他	807,717
	流动資産合計	12,614,856
固定資産	基本財産	98,480,713
	その他	22,499,354
	固定資産合計	120,980,067
資産合計		133,594,923
II 負債の部		
流动負債	短期借入金	15,000,000
	未払金	3,182,229
	未払消費税等	861,400
	その他	4,176
	流动負債合計	19,047,805
固定負債	長期借入金	15,072,000
	負債合計	34,119,805
III 正味財産の部		
	正味財産	99,475,118
	負債及び正味財産合計	133,594,923

正味財産増減計算書 2017年1月1日から2017年12月31日まで (単位:円)		
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常収益	1. 基本財産運用益	1,290,369
	2. 事業収益	74,643,829
	3. 受取補助金等	10,051,278
	4. 鼓童の会収入	6,568,000
	5. 受取寄付金	18,975,237
	6. 雑収益	4,074,923
	経常収益計	115,603,636
(2) 経常費用	1. 事業費	85,738,823
	2. 管理費	29,767,960
	経常費用計	115,506,783
一般正味財産増減額		96,853
一般正味財産期首残高		99,378,265
II 正味財産期末残高		99,475,118

ご支援いただいた皆様

昨年多くの皆様から、様々なご支援をいただきました。ありがとうございます。

深く感謝申し上げますとともに、掲載のご希望をいただいた方のお名前をご紹介させていただきます。（敬称略）

■ ご寄付（2017年1月1日～12月31日） 総額 18,975,237円

- 一般寄付（計 15,185,910円）
 - 10,000口 堀口智顕／500口 島崎信／30口 鈴木道子、丸山勝士／10口 山本珠眞子、中山吉廣、岡山紘、村丸一雄、竹内博之、十二重樹／10口未満および匿名希望の方の合計 4,555,910円
- 研修生育成支援（お風呂募金を含む）（計 1,980,509円）
 - 1,343口 マリア・ゼンダー／10口 黒川参差踊連中／10口未満および匿名希望の方の合計 627,022円
- 寄付（永年贊助会）
 - 納富育代／匿名希望の方4名（計 1,500,000円）
- きしゃぽん（古本募金）寄付22名（計 89,687円）
- やまいもくん募金（計 229,131円）
 - 10口 北倉武昭／たたこう館内の募金箱への寄付 89,131円／10口未満および匿名希望の方の合計 130,000円

■ インカインド（物によるご支援）（2017年4月1日～2018年3月31日）

着物、箪笥 岡村夫妻／そのほかに帯、果物などをご寄贈いただきました。

■ 会員の皆様（2017年1月1日～12月31日）

「鼓童の会」

- 2017年度に会費を受領した方 1,094名／会費受領総額 6,568,000円
 特別支援会（年会費10万円）北島京子、松井秀樹ほか4名／支援会（年会費5万円）稻垣昭生ほか6名／後援会（年会費1万円・入会金1,000円）254名／友の会（年会費3,000円・入会金1,000円）827名／永年贊助会（賛助会からの移行）5名

※上記のほかに、(株)北前船が管轄する賛助会（定員350名／賛助会費30万円）の会員情報を管理。

活動トピックス

鼓童文化財団設立21年目の今年度は、これから20年後を見据え、スタートを切る大事な1年になります。その上では地元・佐渡市との協働はもとより、当財団が重点分野として取り組んでいる、エクサドンの普及・実証検証に欠かせない研究者との協働、また、何よりも鼓童の活動をご支援くださる「鼓童の会」会員の皆様との交流を重点に置いてまいります。



佐渡市との協働

佐渡の地域課題の解決に向け、行政と協働する場面が多くなってきています。地域の文化振興をミッションに掲げる当財団。期待される社会的・地域的課題解決に向け、官民一体となった協働を進めてまいります。

1. 観光を活用した地域づくり — 観光地域づくりへの参画 —

2018年4月に設立する新たな観光地域づくり組織「(一社)佐渡観光交流機構」との新たな協働を図っていきます。

2. 文化を活用した地域づくり — 新設:佐渡文化財団設立への参画 —

2018年7月に設立を目指す、(一財)佐渡文化財団(仮称)の設立準備委員として参画しています。

3. 地域に根ざした地域づくり — 地域運営組織(RMO)の立ち上げに向けて —

地域で暮らす人々が中心となって生活機能を支える事業主体「地域運営組織(RMO)」の設立に向け、中間支援を進めていきます。



佐渡市委託事業「外国人誘客のための現地プロモーション業務」の一環として、佐渡の芸能「鬼太鼓」を海外で紹介。鼓童ミュンヘン公演とタイアップして「佐渡祭ワールドツアーア」を行った。(2018年2月)

エクサドン

佐渡で生まれた、太鼓をつかった健康増進・介護予防プログラム「エクサドン」を広く社会に普及すべく、今年も講習会を各地で展開します。あわせて、バランスのとれた食事習慣を作る食事メニューを開発していきます。

また、文化庁の平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業(共生社会に向けた芸術文化プロジェクト)に、エクサドンが採択され、医療関係者・研究者と協働で実証研究を実施するほか、プログラムの深化を図る目的の勉強会を佐渡島内で開催します。海外に向けてこれまでの成果を紹介する、英語のホームページづくりにも取り組みます。



国際芸術祭「アース・セレブレーション」

昨年、30回目の開催となったアース・セレブレーション。新たな一步を踏み出すにあたり、これまでの活動が評価され、文化庁の「平成30年度国際芸術文化発信拠点形成事業」に採択され(全国11件)ました。この事業は、「文化芸術を社会の基盤と位置づけ、地域の文化芸術の力を活用した国際発信力のある拠点づくりにより、活力ある豊かな地域社会の実現」を目的に、本年度より新たに創設されたものです。



昨年、アース・セレブレーション関連イベントとして実施された、さどの島銀河芸術祭プロジェクト。その一つ「こどもアートワークショップ」は、加茂湖の湖畔にひっそりと佇む船小屋を会場に、佐渡の自然、アート制作、廃材活用について学び、水辺のコミュニティづくりに関心のある親子が多数参加しました。

これまでの3日間のコンサート・ワークショップ・フリンジなどに加えて、今年から立ち上げが本格化する「さどの島銀河芸術祭」や、佐渡市、佐渡観光交流機構(2018年4月設立)がこれまで独自に進めていたイベントとも連動させ、「響く島。SADO」というスローガンを掲げて、島をあげての魅力ある取り組みにしてまいります。

事業計画

- 重点分野
- ・佐渡地域振興策との連携推進
- ・エクサドンプログラムの開発普及
- ・鼓童の会会員・支援者との交流の場づくり

実施事業

ア. 人づくり(研修および体験学習を通じた担い手の育成)

- ① 「太鼓芸能集団 鼓童メンバー養成」コース
 - ・一年次 4月～1月 8名
 - ・二年次 2月～1月 9名
- ② 「エクサドン」講師、サポートー養成
 - ・11月に東日本と西日本で講習会を開催
 - ・9月に佐渡で集中講座を開催
- ③ 「深浦学舎」の運営
 - ・「日本海大学構想」拠点化整備
 - ・太鼓合宿などをはじめとする宿泊受入
 - ・研修プログラムの開催
 - ・修学旅行などの食事提供

イ. 地域おこし(地域資源を利用した地域活性化)

- ① 佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)の運営
 - ・深浦学舎と連動した体験プログラム
 - ・イベント時等の臨時飲食店営業の試行
 - ・島外での出前ワークショップ開催
 - ・エクサドン事業
 - ・ヘルスツーリズムのプログラム開発
 - ・修学旅行太鼓体験
 - ・冬の親子の日帰り企画
- ② 「鼓童 佐渡宿根木公演」を中心とした宿根木地区との連携
 - ・開催期間:4月28日(土)～5月5日(土・祝)
- ③ 佐渡の地域振興に資する各種団体の事務局運営や活動のサポートおよび中間支援
 - ・深浦小学校校舎活用委員会
 - ・小木湊まちなみの輪
 - ・宿根木プロジェクト
 - ・佐渡市創業支援ネットワークミーティング
 - ・佐渡國しま海道
 - ・佐渡祭ワールドツアーエグゼクティブ委員会
- ④ 外国人誘客のための現地プロモーション業務
 - ・佐渡市より「ビジット佐渡アンバサダー(ビジット佐渡観光大使)」任命
 - ・鼓童ヨーロッパツアーア会場ロビーにおいて、外国人誘客のための佐渡観光PR
- ⑤ アースファニチャード事業
 - ・「緑の少年団」によるベンチの製作

ウ. 芸術文化の振興(伝統文化の調査研究を通じた芸術文化の振興)

- ① 佐渡の文化に関する調査研究及び資料収集
 - ・深浦学舎に佐渡に関わる図書資料等の閲覧コーナーを設置
- ② 伝統文化・文化活動への支援
 - ・東日本大震災被災地・郷土芸能復興支援活動(Heartbeat Project)
 - ・一般財団法人佐渡文化財団の立ち上げ支援、事業連携
 - ・佐渡の集落で継承されている芸能の支援
 - ・鼓童メンバーに対する、芸能講座、現地訪問の支援
- ③ アウトリーチ活動
 - ・鼓童塾
 - ・「芸能の宝島佐渡」公演
 - ・研修生と島内中学生の交流学校公演
- ④ 太鼓と医療介護を融合させたメンタルヘルスプログラムの開発
 - ・医療関係者・研究者との協働によるエクサドンの実証検証の実施

エ. 国際交流(国際的な文化交流の場づくりと実践)

- ① 国際芸術祭「アース・セレブレーション(EC)」の実施・運営
 - ・開催期間:2018年8月17日(金)～19日(日)
 - ・「さどの島銀河芸術祭(開催期間:7月下旬～10月上旬)との連携
 - ・「おぎ扇の市」との協働
 - ・英語メディアでの情報発信の拡充
- ② 太鼓合宿の受入
 - ・太鼓をテーマとした高校生を対象とした国際交流プログラムを受入
- ③ 外国クルーズ船の受入
 - ・アメリカの非営利団体Kodo Arts Sphere America(KASA)等との連携

オ. 広報・ファンダイリング(広報活動・資金調達の強化)

- ① 機関誌の内容の充実
- ② ウェブサイトの充実
- ③ 企業との関係強化により法人寄付の強化
- ④ 寄付のオンライン決済システムの定着化
- ⑤ クラウドファンディング等、インターネット時代の資金調達手法の活用
- ⑥ 「鼓童の会」の運営

鼓童文化財団の活動は、皆様のご支援により支えられています。

鼓童文化財団への寄付や鼓童の会の会費は、特定公益増進法人への支援金として、税金優遇措置の対象となります。趣旨にご賛同くださった皆様からの、格別のご支援をお願い申し上げます。

ご支援の方法

1. 「鼓童の会」へのご入会

「鼓童の会」は、鼓童の活動に共感する皆様と鼓童をつなぎ、その活動を幅広くご支援いただく会です。ご入会いただきますと、鼓童の最新情報を届けするほか、公演の先行予約などの特典を、会員額によりご提供いたします。会員料金には郵便振替口座への払込みのほか、「鼓童チケット予約サイト」よりクレジット決済・コンビニ支払いが可能です。ぜひご利用ください。



2. ご寄付

① 一般寄付

1口1,000円より何口でも随時お受けいたしております。年に1万円(10口)以上ご寄付いただいた方はご希望により、鼓童文化財団の年次報告書(本誌)にご名義と金額を掲載させていただきます。

○ 郵便振替

郵便局備付けの払込用紙をご利用の上、下記の郵便振替口座にご送金ください。

[00690-9-25829 (財)鼓童文化財団]

通信欄に、お名前、ご住所、名義掲載のご希望の有無(10口以上の方)をご記入ください。

○ クレジットカード

鼓童公式サイトの「寄付申込フォーム」からお手続きください。

http://www.kodo.or.jp/total_support

② 研修生育成支援

研修所の運営には年間約3,000万円の費用がかかり、また築60年を越えて老朽化した建物の補修もこれから益々必要となって参ります。鼓童の次代を担う研修生の育成にお力添えいただければ幸いです。

○ ご寄付

1口1,000円より何口でも随時お受けいたしております。お申し込み方法は一般寄付と同様ですが、備考欄に「研修生育成支援」とご明記ください。

○ インカインド(物による支援)

2017年度も着物などをいただきました。

このようなご協力をいただけた方は、ぜひ鼓童文化財団事務局までご連絡いただけますようお願いいたします。

○ 鼓童×きしゃぽん「どんどこ古本募金プロジェクト」

「古本募金きしゃぽん」の協働パートナーとなりました。「きしゃぽん」は、ご自宅に眠っている本・DVDなどをリサイクル換金し、指定の団体(協働パートナー)に寄付するしくみです。当プロジェクトを通じていただけたご寄付は、研修生の支援に使わせていただきます。皆様のご協力によりいただいたご寄付は約3年間で13万円を超え、研修生の稽古用のバチ材を100組以上購入することができました。

詳しくは、古本募金きしゃぽん (Tel.0120-29-7000、<http://kishapon.com/kodo/>)

または鼓童文化財団事務局までお問い合わせください。



③ やまいもくん募金

原木太鼓「やまいもくん」と「ぶたばなちゃん」は、2001年からおよそ5年間の月日をかけて、見留知弘を中心とした鼓童メンバーによる「手作り太鼓プロジェクト」から生まれた太鼓です。2006年にメンバーが石川県の浅野太鼓楽器店様へ伺い、鉦打ちをして仕上げました。2007年のたたこう館の開館以来お客様に親しまれてきた「やまいもくん」でしたが、革が破れてしまい、昨年張替えを行いました。

たたこう館に募金箱を設置しております。ご協力いただいた方には、はずした革から作った札や太鼓からはずした鉦、原木太鼓のイラストつきのフセンなどの記念グッズを差し上げております。

鼓童グループ

活動理念 :

私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をめざします。

鼓童グループは、以下の4つの組織に分かれて運営いたしております。

● 太鼓芸能集団「鼓童」

太鼓を中心とした音楽芸能の創造、実演、教育などの活動を行います。

● 株式会社 北前船

太鼓芸能集団「鼓童」のマネジメント、公演等の企画、興行、鼓童商品の開発販売を行います。

● 有限会社 音大工

太鼓芸能集団「鼓童」および鼓童グループの著作権管理、映像音源メディアの企画制作を行います。

● 公益財団法人 鼓童文化財団

太鼓芸能集団「鼓童」が培った経験と佐渡の資源を活かし、広く社会に貢献できる活動を行います。

「鼓童文化財団」役員・評議員

理事長	五十嵐実	税理士、日本自然環境専門学校長
専務理事	菅野敦司	
理事	松田祐樹	NPO法人佐渡芸能伝承機構 理事長
理事	山口幹文	太鼓芸能集団「鼓童」名誉団員
監事	河内秀夫	税理士
監事	佐藤一行	(株)北前船 社外取締役 / (有)音大工 監査役
評議員	青木孝夫	(株)北前船 代表取締役社長
評議員	浅野昭利	(財)浅野太鼓文化研究所 理事長
評議員	関原剛	協同組合ウッドワーク 顧問
評議員	堀口智顕	サンフロンティア不動産株式会社 代表取締役社長
特別顧問	島崎信	武蔵野美術大学名誉教授
顧問	高野宏一郎	元佐渡市長

発行責任者 : 五十嵐実
編集責任者 : 本間康子
デザイン : 吉川美沙希
写真 : 岡本隆史、モモセヒロコ、中川晃輔、みしまひろゆき、小林弘樹、鼓童

鼓童文化財団
KODO CULTURAL FOUNDATION

〒952-0611 新潟県佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村
Tel. 0259-81-4100 Fax. 0259-86-3631
Email: zaidan@kodo.or.jp
<http://www.kodo.or.jp>